

南房総市生涯読書推進計画



南房総市教育委員会

はじめに

子どもの読書活動は、言葉を学び知識を身につけ、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりよく生きていくために欠くことができないものであり、社会全体でその推進を図っていくことが必要です。

本との出会いは、“未知”との出会いであり、自分との出会いでもあります。本を通じて時代を超えた広い世界を知り、実生活では体験できない経験を重ねていくうちに、豊かな感性が育まれていきます。子ども達が発達段階に応じた読書の機会を得ることは読書の効果を高めるために大切なことです。

しかし、幼児期に始まる言葉でのコミュニケーション不足、児童期での読書習慣の不足、インターネットや携帯電話などの情報メディアの普及により児童生徒の活字離れ、読書離れが加速度的に進んでいます。

このような情報化社会の進展は、自分で物事を考えずに断片的な情報を受け取るだけの受け身の姿勢を人々にもたらしやすいと言われてしています。

子どもが読書を楽しむ習慣を身に付けるためには、身近な大人の読書を楽しんでいる姿を見ることが大切です。乳幼児期から親子で一緒に本を読み、語り合うことができれば、子どもは読書習慣が身につくとともに、親子関係がより温かく豊かなものになります。子どもの読書活動を推進させる取組は、子どもの成長だけでなく、大人自身にも新たな発見をもたらす、生涯に亘って自らを高めていくことにつながります。

したがって、大人は子どもの読書活動の重要性や意義についての認識をさらに深め、子どもが自分で物事を考えることができるように支援していかなければなりません。

そのためには、家庭・地域・学校・図書館等が連携・協力して、自ら本に手をのぼし生涯読書を楽しめる読書活動を推進していくことが重要です。

目 次

はじめに

第1章	計画策定の背景	1
1.	国・県の動向について	1
2.	南房総市の現状について	1
	資料 読書に関することについて	2
	過去6年間における市図書館の利用状況資料ほか	6
第2章	計画の基本的な考え方	8
1.	策定の目的	8
2.	計画の目標	8
3.	基本方針	9
4.	計画の期間	9
5.	年代別読書推進全体構想	10
第3章	生涯読書活動推進に向けた取組	12
1.	市民の読書活動の推進	12
2.	家庭における乳幼児の読書活動の推進	14
3.	学校での読書活動の推進	17
4.	高校生から成人・高齢者の読書活動の推進	19
5.	その他の推進事業	21
第4章	計画の推進と評価	22
1.	南房総市生涯読書推進計画の推進について	22
2.	計画の進行管理	22

第1章 計画策定の背景

1 国・県の動向について

国では読書のはかり知れない価値を認識し、子どもの読書活動について支援をするため、平成12年を『子どもの読書年』と決めました。「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月）に基づき、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成14年8月。平成20年3月第二次計画）を策定しました。

また、千葉県においても国の動向をふまえ、「千葉県読書推進計画」（平成15年3月。平成22年3月第二次計画。平成27年3月第三次計画）を策定しています。

「南房総市生涯読書推進計画」は、国や県の計画を基本とし、南房総市の子どもをはじめ、市民が自主的に読書に親しみ、生涯に亘り読書活動に親しむことができる環境づくりを目指して策定するものです。

2 南房総市の現状について

市内には、南房総市図書館と公民館やコミュニティセンターの図書室が6つあり、本市ではこれらの図書室の整備と定期的な図書の購入を行い、多くの市民に図書を提供できるように取り組んでいます。

年間入館者数は毎年45,000人前後です。平成28年度は、入館者一人当たりの貸出冊数は1.47冊（前年度1.54冊）です。また図書館カード登録率は18.66%（前年度17.40%）で増加傾向にあります。

一方、小学6年生や中学3年生の全国学力・学習状況調査における読書状況の結果を見ると「読書は好き」が小・中学生とも減少しました。また、「30分以上読書する」小学生が増え、中学生は若干減りました。「読書を全くしない」児童が増え、中学生は減少しました。学校図書館・学校図書

室、地域の図書館の利用については年に数回程度、殆ど全く行かない児童生徒が増えました。

また、平成28年度に実施した幼児の読書アンケート調査結果から、「読書を全くしない」が26.2%、図書館や図書室の利用については「行かない」が50.8%、おはなし会への参加は「全くいかない」が77.6%というということが分かりました。

【読書に関することについて】

<資料>

(1) 平成22年度と平成27年度の読書に関する質問紙の比較

～全国学力・学習状況調査より～

(小6児童)

1. 読書は好きですか (%)							
選択肢	1 あてはまる	2 どちらかといえばあてはまる	3 どちらかといえばあてはまらない	4 あてはまらない	5 無回答他		↑ 増 ↓ 減
本市 ()内は全国	H22	42.2 (47.1)	31.2 (25.3)	12.8 (16.4)	13.8 (10.4)	0.0 (0.1)	↑ 増 ↓ 減
	H27	34.7 (48.9)	28.8 (23.9)	20.7 (15.7)	15.9 (11.5)	0.0 (0.1)	
	H22/27 比較	↓	↓	↑	↑		

2. 家や図書館で普段(月から金)、1日あたりどれくらいの時間読書をしますか (%)								
選択肢	1 2時間以上	2 1時間～2時間	3 30分～1時間	4 10分～30分	5 10分より少ない	6 全くしない	6 無回答他	
本市 ()内は全国	H22	3.7 (6.3)	9.2 (10.0)	15.6 (19.)	25.7 (26.5)	22.0 (16.8)	23.9 (20.7)	0.0 (0.0)
	H27	4.1 (7.5)	15.1 (10.1)	15.5 (20.1)	25.8 (26.5)	14.8 (15.8)	24.7 (19.9)	0.0 (0.1)
	H22/27 比較	↑	↑	↓	↑	↓	↑	

3. 昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。(%)

	選択肢	1 週4日以上	2 週1~3回程度	3 月1~3回程度	4 年に数回程度	5 殆どまたは全く行かない	6 無回答 他
本市 ()内は全国	H22	1.8 (3.4)	17.4 (15.3)	22.9 (24.8)	29.4 (26.8)	28.4 (29.4)	0.0 (0.4)
	H27	1.8 (3.4)	10.7 (14.2)	20.7 (23.1)	33.6 (28.4)	33.2 (30.7)	0.0 (0.3)
	H22/27 比較		↓	↓	↑	↑	

(中3生徒)

1. 読書は好きですか (%)

	選択肢	1 あてはまる	2 どちらかといえばあてはまる	3 どちらかといえばあてはまらない	4 あてはまらない	無回答 他	↑ 増 ↓ 減
本市 ()内は全国	H22	45.3 (43.7)	28.1 (25.1)	9.4 (18.0)	17.2 (12.9)	0.0 (0.3)	↓ 減
	H27	45.2 (44.9)	25.4 (23.0)	16.1 (16.8)	13.3 (15.0)	0.0 (0.2)	
	H22/27 比較	↓	↓	↑	↓		

2. 家や図書館で普段(月から金)、1日あたりどれくらいの時間読書をしますか。(%)

	選択肢	1 2時間以上	2 1時間~2時間	3 30分~1時間	4 10分~30分	5 10分より少ない	6 全くしない	無回答 他
本市 ()内は全国	H22	6.3 (4.9)	9.4 (7.9)	12.5 (14.5)	23.4 (21.5)	10.9 (12.9)	37.5 (38.1)	0.0 (0.1)
	H27	5.4 (6.3)	8.6 (8.7)	13.3 (15.6)	26.5 (21.6)	14.7 (12.7)	31.2 (35.0)	0.4 (0.1)
	H22/27 比較	↓	↓	↑	↑	↑	↓	

3. 昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。 (%)

	選択肢	1 週4日以上	2 週1~3 回程度	3 月1~3 回程度	4 年に数 回程度	5 殆どま たは全 く行か ない	無回答 他
本市 ()内は全国	H22	0.0 (2.3)	3.1 (6.0)	17.2 (10.8)	21.9 (21.2)	57.8 (59.4)	0.0 (0.2)
	H27	0.4 (2.2)	3.6 (6.0)	10.4 (11.4)	26.9 (23.1)	58.4 (57.0)	0.4 (0.2)
	H22/27 比較	↑	↑	↓	↑	↑	↑

(2) 市内子ども園の3歳児と6歳児を対象にした読書に関するアンケート調査結果より

(H28.9 実施)

①家で1日にどれくらいの時間読書をしますか。

項目	歳児		
	3歳児 (64人)	6歳児 (119人)	計 (183人)
15分程度	41人 (64.1%)	82人 (68.9%)	123人 (67.2%)
30分以上	5人 (7.8%)	7人 (5.9%)	12人 (6.6%)
全くしない	18人 (28.1%)	30人 (25.2%)	48人 (26.2%)

②絵本などを借りるために、市の図書館や公民館などの図書室をどのくらい利用しますか。

項目	歳児		
	3歳児 (64人)	6歳児 (119人)	計 (183人)
週に数回利用	2人 (3.1%)	3人 (2.5%)	5人 (2.7%)
月に数回利用	23人 (35.9%)	62人 (52.1%)	85人 (46.4%)
全く利用しない	39人 (60.9%)	54人 (45.4%)	93人 (50.8%)

③地域で開催されているおはなし会にどれくらい参加していますか。

項目 \ 歳児	3歳児 (64人)	6歳児 (119人)	計 (183人)
ほぼ毎回参加	2人 (3.1%)	1人 (0.8%)	3人 (1.6%)
年に数回参加	12人 (18.8%)	26人 (21.8%)	38人 (20.8%)
全く参加しない	50人 (78.1%)	92人 (77.3%)	142人 (77.6%)

過去6年間における南房総市図書館の利用状況

※ 平成23年10月11日よりネットワークシステム開始（本稼動）

1 年間入館者数 (単位:人)

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
入館者数	45,079	44,688	43,166	45,631	47,311	45,905

考察：入館者数に大きな変化はなく、毎年45,000人前後の入館者がある。
今後も、魅力ある図書館運営に努め、利用者の増加を図りたい。

2 年間貸出人数と貸し出し冊数（図書館）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出人数(人)	20,957	20,117	20,301	21,129	23,118	22,413
貸出冊数(冊)	67,991	67,146	68,238	70,523	73,073	67,570

年間貸し出し冊数（とみうら元気倶楽部）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出冊数(冊)	3,716	4,961	5,041	4,973	6,074	6,391

年間貸し出し冊数（富山ふれあいコミュニティセンター）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出冊数(冊)	3,609	4,726	5,089	5,031	5,050	5,169

年間貸し出し冊数（三芳農村環境改善センター）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出冊数(冊)	1,829	3,385	5,093	4,871	4,929	4,000

年間貸し出し冊数（白浜コミュニティセンター）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出冊数(冊)	1,931	3,026	3,545	3,737	3,311	4,502

年間貸し出し冊数（丸山公民館）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出冊数(冊)	1,379	1,911	1,779	1,971	1,496	1,547

年間貸し出し冊数（和田コミュニティセンター）

年 度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出冊数(冊)	1,595	2,881	2,007	2,248	2,060	1,740

考察：平成23年度と比較すると着実に増加傾向にある。公民館・コミュニティセンター等の図書室の利用が大きい。

その他統計資料

平成29年3月31日現在

① 図書館カードの登録率
 (市内登録者数÷人口×100)
18.66 %
 前年度 17.40 %

② 蔵書回転率
 (年間貸出冊数÷蔵書冊数)
 <図書館> **0.84回**
 前年度 0.94回
 <公民館を含む>
0.73回
 前年度 0.78回

③ 入館者1人あたりの貸出冊数
 (年間貸出冊数÷入館者数)
1.47 冊
 前年度 **1.54 冊**

④ 人口1人あたりの蔵書冊数
 (蔵書冊数÷人口)
3.21 冊
 前年度 **3.16 冊**

⑤ 人口1人あたりの資料購入費
 (資料購入費÷人口)
152円
 前年度 **150円**

⑥ 全館蔵書冊数 126,774冊

総記	2,463冊	哲学	2,023冊
歴史	8,003冊	社会	9,093冊
自然	8,809冊	技術	8,515冊
産業	2,967冊	芸術	6,840冊
言語	1,295冊	文学	58,167冊
絵本	17,597冊	紙芝居	330冊
雑誌	671冊		

第2章 計画の基本的な考え方

1 策定の目的

本市においては、平成21年9月に「南房総市生涯読書推進計画」を策定しました。その後、平成28年度まで、家庭・地域・学校・図書館等が連携を図り、子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備・充実に努めてきました。

子どもの読書活動と市民の読書活動のさらなる推進を図るために、平成29年度から平成33年度の5年間の計画期間とする「南房総市生涯読書推進計画」（以下「計画」）を策定しました。

今後、この「計画」に基づき、心豊かな子どもの育成とともに南房総市の乳幼児から大人までが、生涯にわたり読書を楽しみ読書活動に親しむことができるよう、読書環境づくりをめざして策定するものです。

2 計画の目標

- 乳幼児期から、わらべ歌や読み聞かせ等に親しませ読書の大切さを知らせるとともに、家族みんなで読書に親しむ環境づくりを進めます。
- 子どもの発達段階に応じて、保育所・幼稚園、子ども園、小中学校、高等学校とが積極的な読書活動の展開を工夫し推進を図ります。
- 市民が自主的に読書を楽しめるよう、読書環境の整備と人材育成・配置を進めます。
- 文化的な市の建設、市民の高い教養の維持をめざし、成人の読書活動を支援します。
- 家庭・地域・学校・図書館等及び行政が連携協力しながら読書活動の推進を図ります。

3 基本方針

本図書館は、計画の目的及び目標を達成するため、子ども達には読書の楽しさを伝え、大人たちには子どもの読書の大切さと素晴らしさについてその理解を求めていきます。そのためには、家庭・地域・学校・図書館等が連携して本計画を推進していくことが大切です。

そこで、3つの基本方針を定めました。

(1) 楽しむ読書

子どもに読書のきっかけとなるような様々な場を提供し、また、自ら進んで本を読み、楽しめるような環境を整えます。

(2) みんなで読書

大人にも読書の素晴らしさと必要性を伝え、子どもと共に本の世界に親しむ環境を整えます。

(3) 支える読書

読書活動推進に向け、家庭・地域・学校・図書館等がそれぞれの役割を担うことに加え、相互に連携・協力を図りみんなで支える体制づくりを進めます。

4 計画の期間

本計画は、平成29年度から平成33年度までのおおむね5年間とし、必要に応じて見直していくこととします。

5 年代別読書推進全体構想

年代	乳児から幼児（0歳～6歳）	児童から生徒（7歳～15歳）
項目	本と遊ぶ	本に学ぶ
図書館の役割	<p>生涯読書のスタート</p> <p>絵本と遊ぶ楽しさを感じる</p> <p><u>☆親子への支援</u></p> <p>【取組の重点】 乳幼児向け絵本の充実 乳幼児への読み聞かせ活動の充実 読み聞かせと貸し出し事業 選書の相談</p>	<p>本から学ぶ楽しさを知る</p> <p><u>☆学校への支援</u></p> <p>【取組の重点】 蔵書数の増大と内容の充実 読み聞かせ活動の充実 図書館見学や職場体験の受け入れ 図書館の仕組みや仕事の広報 学校との連携による読書活動の充実 選書の相談</p>
関係機関の役割	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>子育て支援センター 保育園（2園）幼稚園（2園） 子ども園（4園）</p> <p>○子育てにおける読書活動 ○団体貸し出し</p> </div> <p>○家庭での読書活動支援 ○地域での読書活動支援</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>小学校7校 中学校5校 小中一貫校1校</p> <p>○読書習慣の確立 ○読書指導の充実 ○学校図書館・学校図書室 の活用 ○団体貸し出し</p> </div> <p>○地域での読書活動支援 ○放課後子どもクラブでの読書活動支援</p>

高校生から成人（16歳～）	高齢者（65歳～）
本を利用・活用する	本を楽しむ
<p style="text-align: center;">本が身近にある</p> <p><u>☆個人・団体への支援</u></p> <p>【取組の重点】 高校生から成人向け図書コーナーの設置 レファレンスの充実と資料提供 新刊本の案内 学習コーナーの設置</p>	<p style="text-align: center;">本は豊かな生活の一助</p> <p><u>☆個人・団体への支援</u></p> <p>【取組の重点】 市民のニーズに応じた選書と購入 展示コーナーの工夫 リクエスト本への対応 レファレンスの充実、情報の収集 新着本の案内</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">県立学校 市内公民館等（6館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民館等図書室の活用 ○公民館講座 ○団体貸し出し </div> <p>○公民館講座での読書活動支援</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">市内公民館等（6館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民館等図書室の活用 ○公民館講座 ○団体貸し出し </div> <p>○公民館講座での読書活動支援</p>

第3章 生涯読書活動推進に向けた取組

1 市民の読書活動の推進

(1) 市民に向けた取組とその現状及び目標値

市内には、南房総市図書館と公民館やコミュニティセンターに図書室が6つあります。定期的な図書の購入を行い、多くの市民に提供できるように取り組んでいます。また、図書館では「新刊本コーナー」を設置し、市の広報紙を活用して新着図書の案内をしています。

窓口や電話による市民からのリクエストのあった図書については、本館検索システムや県立図書館、県内公共図書館の相互貸借システムを利用し迅速な提供に努めています。また、最寄りの窓口で図書の受け取りができるよう各公民館等へリクエスト本の配送を行っています。

市民の読書活動の状況をみると、図書館カードの登録者数や施設別貸出の利用者冊数は増加しています。

公民館等では、おはなし会ボランティアなどの協力により、幼児から小学校低学年を対象とした絵本の読み聞かせ会を、毎月定期的で開催しています。地区によっては、参加者数に課題があるため図書館と連絡・相談をしながら進めているところです。多くの参加を呼びかけると共に、ボランティアの数も増やしていきます。

①図書館カード登録者数

年齢別 年度	6歳 以下	7歳～ 12歳	13歳～ 15歳	16歳～ 18歳	19歳～ 59歳以上	60歳 以上	計 (人)	比 率%
H22	94	827	477	494	4,434	1,418	7,744 (43,424)	17.8
H27	199	1,089	486	482	3,706	2,041	8,003 (40,776)	19.6
H33 末までの目標値								8,403 人 (1年間で1%アップ)

() 内は総人口

②施設別貸出冊数

施設別 年度	富浦	富山	三芳	白浜	丸山	和田	図書館	計 (冊)
H22	1,768	1,755	439	938	845	487	68,623	74,855
H27	6,074	5,050	4,942	3,311	1,496	2,060	76,136	99,056
H33 末までの目標値								104,056 冊 (1年間1%アップ)

③各地区の読み聞かせボランティア登録者数

地区別 年度	富浦	富山	三芳	白浜	千倉	丸山	和田	計 (人)
H27	7	11	17	3	5	2	3	48
H33 末までの目標値								35 人 (各地区 1年間1名増)

2 家庭における乳幼児の読書活動の推進

(1) 家庭へ向けた取組とその現状及び目標値

子どもの読書習慣は、日々の生活習慣をもとに獲得されていくものです。特に幼少期では、文字や言葉とのかかわりに影響されるために身近にいる大人が、子どもに与える読書の効果について理解することが大切です。しかし、乳幼児の読み聞かせの大切さを理解して、その楽しさを味わわせ、いろいろな絵本との出会いを図っている保護者がいる一方、読書活動にあまり関心を示さない家庭もあります。

子どもに読書を習慣化させるには、読書の重要性について家庭への啓発を図り、本を身近な存在に感じさせることから始めます。家庭内に絵本箱や棚を配置するなど本に囲まれた環境づくりを呼びかけると共に、子どもと本との出会いになる絵本の読み聞かせを推進します。

<乳幼児股関節検診時での読み聞かせ参加数>

年度	人数	参加数 (人)	出生数 (人)	比率 (%)
H25		183	185	98.9
H27		169	159	106
H33 目標値				100

*H27の参加数については転入などにより、参加数が増えている。

H27までは、ブックスタートとして読み聞かせを実施。

H28は、乳幼児の股関節検診での読み聞かせを実施。

H29より1歳6ヶ月児健康診査時における読み聞かせを実施。

【具体的な取組】

① 絵本との出会い（読み聞かせと絵本の貸し出し事業）

1歳6ヶ月児の健診日にあわせて登録ボランティアによる絵本の読み聞かせと貸し出しを実施します。本との出会い、読み聞かせによる言葉

とのふれあい、本の楽しさ、親子のコミュニケーションの大切さを伝えます。

希望者にはその場で図書館カードを発行します。

②おはなし会の実施（図書館、各地区公民館等にて 月1回実施）

図書館や各地区公民館等で、読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせや紙芝居などを行っています。幼い時から絵本や文字に親しむ子どもを育てる一助とします。そして図書館や公民館等の図書室の利用促進を図ります。

(2) 保育所・子ども園・幼稚園での取組とその現状及び目標値

保育所・子ども園・幼稚園では、読み聞かせの楽しい体験やいろいろな本との出会いを進めるため、教職員が幼児の発達段階にあった絵本の読み聞かせや紙芝居を毎日実施し、言葉やお話などへの興味関心を育てています。

【具体的な取組】

① 家庭への啓発

幼児期における読書の大切さについて、お便りや保護者会などで継続して伝えていきます。

- ・おはなし会への参加の呼びかけ
- ・家族で「図書館へ行こう」の呼びかけ
- ・おはなし会の広報、図書館利用の啓発、読書に関する講演会等の企画を推進

② ボランティアによる読み聞かせの実施（保育園・幼稚園）

担任による読み聞かせ以外に、ボランティアによる読み聞かせを通して、地域の大人とのコミュニケーションを図り、保護者に選書や読み方のアドバイスをします。

(3) 市内子ども園の3歳児と6歳児を読書に関する目標値

① 家で1日にどれくらいの時間読書をしますか。

目標値 \ 歳児	3歳児	6歳児
全くしない	23%	20%

<1年間で1%ダウン>

② 絵本などを借りるために、市の図書館や公民館などの図書コーナーをどのくらい利用しますか。

目標値 \ 歳児	3歳児	6歳児
全く利用しない	56%	40%

<1年間で1%ダウン>

③ 地域で開催されているおはなし会にどれくらい参加していますか。

目標値 \ 歳児	3歳児	6歳児
全く参加しない	73%	72%

<1年間で1%ダウン>

3 学校での読書活動の推進

(1) 小学校・中学校での取組とその現状及び目標値

学校教育では、読書活動を『生きる力』育成の重要な要素ととらえ、各教科・特別活動・総合的な学習の時間において多様な読書活動を展開しています。特に国語科では、学習指導要領において『楽しんで読書しようとする態度を育てる』ことなどが目標とされています。読書意欲を高め日常生活において読書活動を活発に行うことや学校図書館の利用で必要な本や資料を選び人間形成のため幅広く偏りのない読書をする指導が行われています。また、単なる表現上のコミュニケーション能力だけでなく、人間関係力を加えた『伝え合う力』の育成を図るために、読書を生活の中に定着させようと努めています。

【具体的な取組】

① カリキュラムに位置付けた読書の推進

国語科学習の中での読書指導を行う。

(小学校1・2年生の図書館指導、多読につなぐ読書)

他教科、領域等の学習に結び付けた読書を進める。

(調べ学習等での読書)

図書館利用指導と共に図書館見学を行う。

② 読書通帳の実施

小学1年生から3年生までを中心に、読書通帳を発行し読書する楽しみ体験をしてもらい、本に親しむ子どもの育成の一助とする。

③ 小学校1年生に図書館カードを推奨

小学校入学式当日に、各小学校に依頼し図書館カードの作成・登録を推奨し、図書館や地区の公民館等の図書室を利用できるようにする。本を手に取り、たくさんの本と出会い、読書を通して本子どもに育てる。

- ④ 小学校低学年を対象とした図書館の利用について学習会を実施
図書館や公民館等の図書室を会場として、小学1・2年生を対象に
図書館の利用方法について指導するとともに図書館カード未登録者
に図書館カードを発行する。
- ⑤ 「ミニビブリオバトル」本の紹介ゲームの実施
自分の読んだ本を友達に紹介する場を設け、読書へ興味・関心を高
めると共にコミュニケーション能力の向上を図る。
- ⑥ 調べ学習に役立つ蔵書リストの情報提供
学校の要望に応じて調べ学習に必要な情報を随時提供する。
- ⑦ 児童生徒の職場体験の積極的な受け入れ
- ⑧ 図書館での学習室の利用を奨励

○小学校1年生に図書館カード登録推奨

年度	人数	登録者数(人)	入学者数(人)	比率(%)
H25		130	244	53.2
H27		90	238	37.8
H33 目標値		193	193	100

○学校図書室との連携(貸出冊数)

年度	冊数	小学校(冊)	中学校(冊)	合計(冊)
H25		906	51	957
H27		1416	116	1,532
H33 目標値		2700	400	3100

○職場体験の実施状況

年度	校種	小学校		中学校		高等学校	
	学校数 人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
H25		1	3	3	6	0	0
H26		1	5	4	6	0	0
H27		1	2	3	5	0	0
H33 目標値		3	6	4	6	1	2

4 高校生から成人・高齢者の読書活動の推進

高校生から成人・高齢者の図書館カード登録者数は、増加傾向にあるものの、年齢が上がるにつれ増加の割合は多いとは言えません。市内には、県立高等学校が1校、安房地域には5校（私立校含む）あります。市の図書館利用と共に図書館司書が在籍する学校図書館・学校図書室と連携していくことにより、高校生の読書活動を支えていく必要があります。

(1) 高校生から成人・高齢者に向けた取組とその現状及び目標値

高校生から成人・高齢者の図書館カード登録者数は、増加傾向にあるものの、年齢が上がるにつれ増加の割合は多いとは言えません。市の図書館利用と共に図書館司書が在籍する学校図書館・学校図書室と連携していくことにより、高校生のヤングアダルト本の利用読書活動を支えていく必要があります。

また、公民館と連携して読書推進となる講座の開設を検討し、成人・高齢者に向けた読書への意欲や興味を高めていくことも大切です。

【具体的な取組】

- ① 学習コーナーの利用促進や高校生以上から成人用の新刊本の案内
- ② 高校生の職場体験の受け入れ
- ③ 公民館と連携し、読書推進となる講座の開設の検討
- ④ 高齢者や遠隔または交通手段がないことなどを理由に図書館に来館できない市民に向け、本の宅配サービス（有料）の実施
- ⑤ 宅配サービスの提供について市民に周知
- ⑥ 市民が必要な資料の要望に応え、資料や情報を提供
- ⑦ 拡大本の利用について市民に周知
- ⑧ おはなし会ボランティア・読み聞かせボランティア研修会による人材育成

○図書館の宅配サービス利用状況

年度 人数	H25	H26	H27	H33 目標値
利用者数（人）	4	3	1	5

○ボランティア登録者数

年度 人数	H25	H26	H27	H33 目標値
おはなし会 ボランティア	49	49	48	55
ブックスタート ボランティア	34	21	19	25

*ブックスタート事業終了のため、ブックスタートボランティアの名称は、
H28 より読み聞かせボランティアに変更

5 その他の推進事業

(1) 図書のリサイクル

継続

地球にやさしい取り組みの一環として、「本のリサイクルコーナー」を継続して設置します。家庭で不要になった本の無料持ち込みと持ち帰りが可能です。

(2) 利用時間の延長

継続

毎週水曜日（祝日は除く）は利用時間を2時間延長し、午前9時から午後7時までとし、利用者の利便性を図ります。

(3) 在住地区公民館等の図書室の利用

継続

利用者のリクエストに応えるために、本図書館と各地区の図書室の連携を図ります。予約本また返却本の配送業務を行い迅速に利用者のリクエスト本に迅速に対応します。

(4) 読み聞かせボランティア養成

新規

小学生や中学生の職場体験では読み聞かせを体験させ、そのよさや興味・関心、意欲を高めます。

読み聞かせ体験会や講師を招聘した研修会を開催し、読み聞かせ技術の向上を図ります。

(5) 読書普及活動

新規

子ども読書の日・読書週間を利用したイベントを企画し、本と遊ぶ、本に学ぶ、本を楽しむなど、本が身近にあることを感得できるようにします。

(6) 雑誌のリサイクル

継続

年1回、発行日より2年経過した雑誌を市民に無料提供します。

第4章 計画の推進と評価

1 生涯読書推進計画の推進について

「南房総市生涯読書推進計画」の推進にあたり、計画の進捗状況を評価し、結果を公開します。

2 計画の進行管理と評価について

計画の進捗状況は、生涯学習課図書館が管理し、社会教育委員会、図書館協議会において、計画の進捗状況を評価し取組に対する助言を求めます。また、必要に応じて関連部署及び各関係機関に意見を求めます。



南房総市生涯読書推進計画

平成 29 年 7 月 1 日発行
南房総市教育委員会
南房総市図書館